



「サツマイモ基腐病」に要注意！

- ◆ 1度発生すると大きな被害を及ぼす「サツマイモ基腐病」が長崎県内でも令和2年に確認され、発生地が拡大しています。
- ◆ 「サツマイモ基腐病」は、さつまいもの生育不良やいもの腐敗等の被害を及ぼします。
- ◆ 一旦発生すると防除が困難になりますので、3つの対策として病気を、①圃場に持ち込まない、②圃場で増やさない、③圃場に残さないを徹底してください。

【サツマイモ基腐病の症状】

- ・ 地際の茎（つる）が黒変し、茎葉が繁茂する時期には黒～黒褐色に変色し枯死します。（写真①）
- ・ 塊根（イモ）は、なり首から腐敗します。（写真②）



写真①

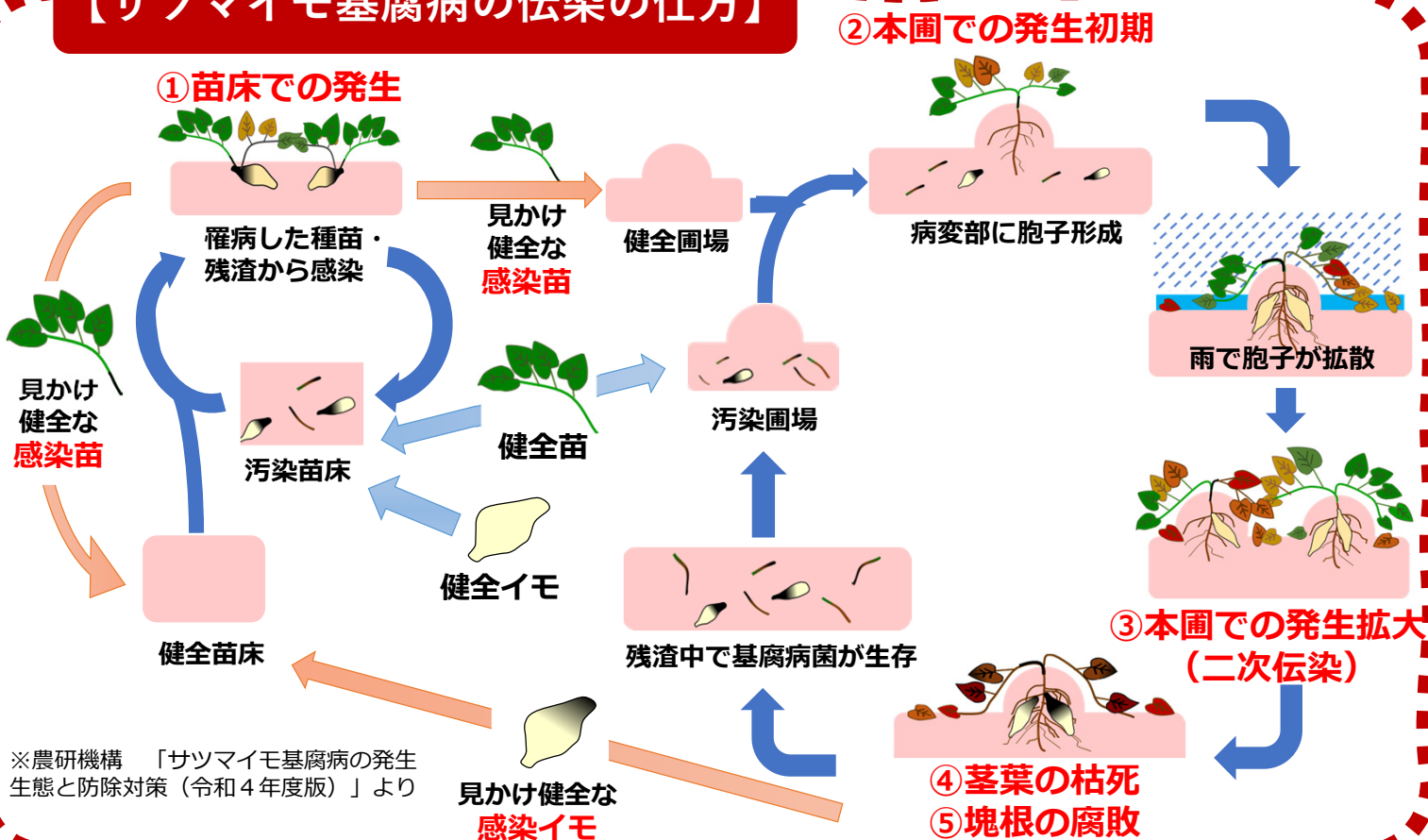


腐敗

写真②

写真：長崎県病害虫防除所

【サツマイモ基腐病の伝染の仕方】



※農研機構 「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策（令和4年度版）」より

【サツマイモ基腐病の予防対策（3つの対策の徹底）】

① **持ち込まない**対策

- 種イモや苗を購入する際には、**健全なもの**であるかよく確認する。

参考 { 腐敗部位のないイモ
病害や傷のないイモ
茎（つる）が黒変していない苗

- 苗の植付け前には**必ず消毒**する。

※消毒液は必ず使用する当日に調整したものを用いる。

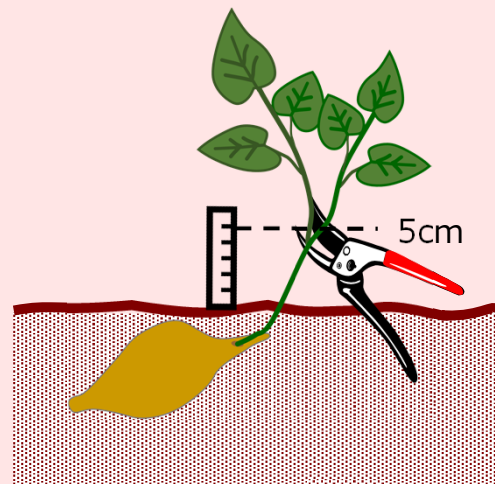
苗の消毒

例) ベンレート水和剤(500~1,000倍)
30分間 苗浸漬



- 苗は、地際部から5cm以上切り上げて採苗すると、感染リスクが低くなる。

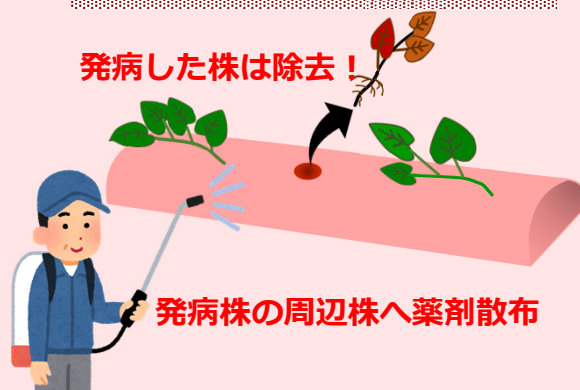
- 採苗時のハサミはこまめに消毒する。
(エタノール70%液または火炎滅菌)



② **増やさない**対策

- 二次伝染と周辺株への感染予防のため、銅剤（Zボルドー、または、ジーファイン水和剤）や、アミスター20フロアブル、トリフミン水和剤をローテーション散布する。

発病した株は除去！



発病株の周辺株へ薬剤散布

③ **残さない**対策

- 苗床や畑で、発病が疑われる株を発見した場合、速やかに苗床や畑の外に持ち出し、適切に処分する。

注目

「サツマイモ基腐病」が疑われる症状を見かけたら、最寄の振興局、JA、市町または病害虫防除所へご相談ください。